

■藤原兼通 公卿。弟兼家と壮絶な権力争いも、結局は敗れるが、死に臨んでなお執念を見せた。

ふじわらのかねみち

..... 925= 村上朝の実力者右大臣藤原師輔の次男に生まれる。

..... 934= 9歳 :

承平天慶乱終 941=16歳 :

..... 943=18歳 : 従五位下に叙爵。

村上天皇即位 946=21歳 : 村上天皇即位とともに、周防権守に任ぜられ、昇殿を許される。侍従に転任。

京群盗横行・ 948=23歳 : 左兵衛佐に遷任。

..... 950=25歳 : 従五位上に昇叙。

..... 952=27歳 : 大和権介を兼任。

..... 955=30歳 : 紀伊権介を兼任し、大和権介を去る。左近衛少将に転任。

..... 956=31歳 : 近江権介を兼任し、紀伊権介を去る。

呉越国返書・ 957=32歳 : 正五位下に昇叙。

..... 958=33歳 : 禁色を許される。中宮(藤原師輔の娘、藤原安子。村上天皇の中宮)亮を兼任。

宋建国・ 960=35歳 : 従四位下に昇叙。中宮権大夫に任官。春宮(憲平親王、のちの冷泉天皇)亮を兼任。

..... 961=36歳 :

師輔は村上天皇に長女の安子を入内させたが、安子は天皇の寵愛深く、後に即位することになる憲平親王(冷泉天皇)、守平親王(円融天皇)を生み、伊尹・兼通・兼家の兄弟は政治上極めて有利な立場にあった。

..... 963=38歳 : 美濃権守を兼任。

..... 964=39歳 : 中宮権大夫を止む。安子が急死、最後まで彼女に付き添ったのは2人の兄伊尹と兼通であった。

延喜式施行・ 967=42歳 : 内蔵頭に遷任され、蔵人頭を兼帯するが、村上天皇が崩御し、冷泉天皇の即位とともに蔵人頭を弟の兼家と代わる。従四位上に昇叙。

..... 968=43歳 : 正四位下に昇叙。

安和の変・ 969=44歳 : 参議に補せられ、宮内卿を兼任、従三位に昇叙するが、弟兼家の出世はこれを上回り、失望して出仕を怠るようになり、冷泉天皇に次いで即位した円融天皇からも嫌われる。

..... 970=45歳 : 讃岐権守を兼任。美濃権守を兼任し、讃岐権守を去る。

..... 971=46歳 : 長兄伊尹が摂政太政大臣に昇る。

..... 972=47歳 : *ようやく権中納言に進む。危篤になった長兄伊尹が辞意を示すと、次の日には天皇の御前で、後任を巡って兼家と口論を始める有様で、天皇を母たる亡き安子の書付で追い込み、内覧を許され、一挙に内大臣に引き上げられ、関白宣下される。

..... 973=48歳 : 正三位に昇叙。

尾張国守罷免 974=49歳 : 頼忠に代わって*藤氏長者となり、正二位に進み、太政大臣となる。

..... 975=50歳 : 従一位に叙される。

..... 976=51歳 : 内裏で火事があり、天皇は兼通の堀川第に移り、時の人はこれを“今内裏”と呼んだ。*関白就任後は兼家の昇進を全く止めただけでなく、兼家が次女の詮子を円融天皇に入内させようとするのを激しく妨害などしたため、天皇から遠ざけられ、ますます不機嫌になり、仲の良い右大臣藤原頼忠を、画策して左大臣を空席とした上、後任に任じる。

..... 977=52歳 : *重い病に伏したが、兼家が見舞いもせず天皇に後任を奏請しようとするのを知って、激怒して起き上がり、病をおして参内、驚愕した兼家は他所へ逃げてしまう。自ら最後の除目を行うと宣言し、左大臣頼忠をもって自分の後任の関白とし、兼家の右近衛大将の職を解き治部卿へ降格してしまう。天皇もその気魄に逆らうことができず、さらに、居並ぶ公卿たちを顧みて、右近衛大将を欲する者はないかと問うと、公卿たちが言葉も無いなか、中納言藤原済時が進み出て右近衛大将に任じられる。准三宮宣下もなく、没した。